



岡本特別支援学校だより

第4号

令和2年12月25日



地域とともに～60年の歩み～



校長 瀧 浩子

10月21日に本校は40周年記念式典を行いました。コロナ禍ですので、少ない人数で短時間での開催となりました。昭和56年に開校して40年の月日がたつわけですが、その前身は国立療養所の中に入院する子どもたちのために、療養所の所長さん、河内村の村長さん、教育長さんという地域の皆さんの熱い思いで昭和35年にできた岡本小・古里中の病院内学級です。実は今年は設立60周年でもありました。その後、小中学校から県立の養護学校に移管され、現在に至っています。当時の資料を見ますと、設立のご苦労とともに、入院している子どもたちが学校ができたことをどんなに喜んで、治療にも良い効果を与えたかということが記されています。60年前に地域の皆様が作ってくれた大切な学びの場を、時代は変わっても病気の子供たちが安心して学べる学校として守り繋いでいくことが、本校の使命だと思っております。

全校生徒が50名にも満たない小さな学校ですが、これからも地域の皆様のお力を借りながら、子どもたちを育てていきたいと思っております。今後ともご協力をお願いいたします。

「地域交流おはなし会」

11月9日(月)「おしゃべり妖精の会」の清水博子さんにご来校いただき、小学部・中学部・やしお学級の児童生徒を対象におはなし会を実施しました。日頃から慣れ親しんでいるお話をはじめ、深まる秋を感じることができる絵本、ケーキができるまでの手作り絵本など、たくさんのお話を読み聞かせいただき児童生徒は大満足でした。冬の足音が聞こえる今日この頃ですが、会場は日だまりのような暖かい空気に包まれました。



とちのき祭

10月3日(土)、本校体育館にて、とちのき祭が行われました。感染症対策をとりながらの実施でしたが、「絆 つなぐ とちのき祭」のテーマのもと、児童生徒ひとりひとりが日々の学習の成果を存分に発揮しました。作品展には、本校児童生徒の作品に加え、交流校の岡本小学校、岡本西小学校、岡本北小学校、古里中学校、河内中学校の児童生徒の皆さんの作品も展示され、個性豊かで華やかな作品が会場を飾りました。コロナ禍の中ではありましたが、児童生徒、保護者、交流校、教職員がまさに『絆』をつないだ温かなとちのき祭となりました。



開会式の様子



小学部「おかりんぴく 2020」



中学部「エール～中学部の友より～」



作品展の様子

岡本特別支援学校 ～おかぴよんの紹介～

児童生徒会長 菅野 莉子

学校の創立40周年を記念して、児童生徒会が中心となり、みんなでマスコットキャラクターを作りました。

岡特の中にあるパワーを形にしたマスコットキャラクター「おかぴよん」です。

「明るく 寛く 健やかに」が岡特の生活指標です。そこで「明るく」からキラキラと大きな瞳、「寛く」から何でも気付ける大きな耳、「健やかに」から体操服という岡特らしい特徴がつまっています。キラキラの瞳に、何でも力にしようとする耳、なんだか岡特のみんなに似ていると思いませんか？

おかぴよんには、これからどんどん岡特のキラキラパワーを振りまいてほしいと思います。おかぴよんをどうぞよろしくお願ひします！

おかぴよんです。
よろしくお願ひします。

